

クリナップ® 取付・設置説明書

適応機種	
レンジフード	
ZRS (60/75/90) NAX	ZRS (60/75/90) NAY
ZRS (60/75/90) NBC	ZRS (60/75/90) NBD
ZRS (75/90) NBX	

この取付・設置説明書は、商品を正しく取り付けていただくための手順や方法・注意事項について記載したものです。取付けにあたっては内容を確認しながら、確実に安全な取付けをお願いします。

安全上のご注意

●取付けの前に、この「安全上のご注意」をよくお読みの上、正しく取付けを行ってください。ここに示した注意事項は、製品を安全に正しく取り付け、あなたや他人の危害や損害を未然に防止するためのものです。また、注意事項は、危害や損害の大きさと切迫の程度を明示するために、誤った取り扱いをすることと生じることが想定される内容を「警告」「注意」の2つに区分しています。いずれも安全に関する重要な内容ですので、必ず守ってください。

- 警告:** 人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容。
- 注意:** 人が傷害を負う可能性及び物の損害のみの発生が想定される内容。

お守りいただく内容の種類を次の絵表示で区分し、説明しています。

記号は行為を禁止する内容を告げるものです。図の中や近傍に具体的な禁止内容(左図の場合は分解禁止)が描かれています。

記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。図の中に具体的な指示内容(左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください)が描かれています。

分解・修理改造禁止 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります	使用禁止 交流100V以外では使用しないこと 火災・感電の原因となります
アースを確実に取り付けること 故障や漏電のときに感電することがあります アースの取付けは販売店にご相談ください	取付注意 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと 誤った配線工事は感電や火災の原因となります
自然排気型のストープを使用するときは、空気の取入口(給気口)により十分給気される配慮をすること 排気ガスが室内に逆流し、一酸化炭素中毒を起すことがあります	取付注意 メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けをすること 漏電した場合、発火したり感電することがあります
電源は専用コンセントおよびブレーカーを設けてください 火災・故障の原因となります	取付注意 レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因となります 詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください
排気工事をされる場合は建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと 火災などの原因となります	取付禁止 レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取付けをすること 漏電した場合、発火することがあります
レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取付けをすること 漏電した場合、発火することがあります	埋込禁止 レンジフードの壁への埋め込みはしないこと 漏電した場合、発火することがあります

接触禁止 運転中は指や物を絶対に入れないこと けがをすることがあります	取付注意 部品の取付けは確実にすること 落下によりけがをすることがあります
取付注意 レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること 落下によりけがをすることがあります	取付注意 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをすることがあります
取付禁止 周囲温度が40℃以上になるところには取付けられないこと 火災・故障の原因となります	使用禁止 浴室など湿気の多い場所では絶対に取付けられないこと 感電および故障の原因となります

取り付け上のお願い

- 下記は「建設工事」に区分され、関連する法令、規定に従って法的有資格者が行う必要があります。
 - 大工工事(設置のための下地工事等)
 - 配線工事(コンセントの設置、コンセント・コネクター利用以外の配線接続等)
 - 管工事(ダクト配管及びレンジフードからのダクト接続等)
- 流通業者(販売店)を通して組立・設置する場合は、「建設工事」とそれ以外の「組立・設置」を区別して行ってください。
- 調理機器の幅はレンジフードの幅以内のものをご使用ください。
調理機器はレンジフードの前面より手前にはみ出して設置しないでください。排気効率が高くなります。
- 製品仕様を改造してのご使用は絶対にやめください。
- 非常に長いダクトや細いダクト、あるいは極端に屈曲したダクトは排気効果を十分に発揮できず、騒音が大きくなりますので使用しないでください。
- レンジフード取付面の補強部に、取付用座ねじが確実に届くことを確認してください。
本体の取付用座ねじは、45mmの長さのものが同梱されていますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用座ねじが確実に届くことを確認してください。
- ダクトの不燃処理について
 - ダクトを50mm以上の不燃材料、または20mm以上の国土交通大臣不燃認定品の不燃材料で被覆してください。
 - 施工要領は、各メーカーの「標準施工要領技術指導書」・「検査要領書」に従ってください。
- レンジフードは調理機器の真上に取り付けてください。
なお、レンジフード取付高さは、グリッドフィルターの下端が調理機器の真上80cm以上になるようにしてください。
- レンジフード下部には、湯沸器を絶対に取付けしないでください。
また、横方向50cm以上離して取り付けてください。
湯沸器の真上には高熱になるため故障の原因となります。
- 建物に密閉されている場合は、約400cm³程度の空気取入口を設けてください。
- 寒い地域ではダクトが結露しレンジフード内に結露水が流れる場合があります。雨水の侵入や結露水の逆流の原因となります。
- 部屋中央で料理される場合は、油煙が捕集しきれませんので、お台所の全体換気のために、他の換気扇と併用していただければ、よりすぐれた換気ができます。

取り付け前の調査と準備

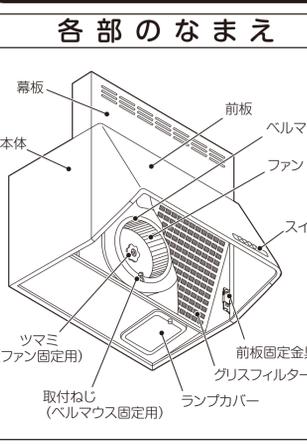
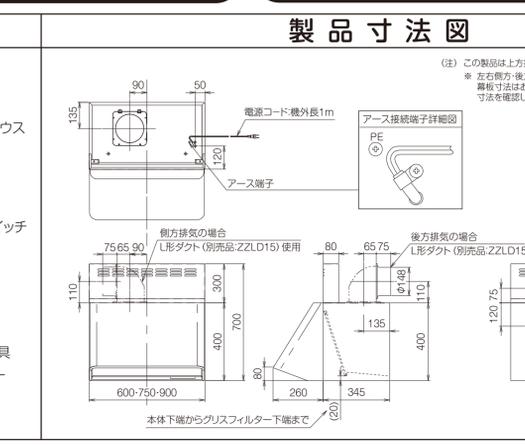
警告 ●修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと 発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります	取付注意 ●レンジフードは、薄板の金属部(壁内ラス網など)と接触しないよう取付けをすること 漏電した場合、発火することがあります
取付注意 ●レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと 火災などの原因となります 詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください	取付禁止 ●レンジフードの壁への埋め込みはしないこと 漏電した場合、発火することがあります

注意 ●レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること 落下によりけがをすることがあります	取付注意 ●取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること 鋼板の切り口や角でけがをすることがあります
取付禁止 ●周囲温度が40℃以上になるところには取付けられないこと 火災・故障の原因となります	

お願い レンジフード取付面の補強部に、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。本体の取付用ねじは、45mmの長さのものが同梱されていますが、壁下地に石膏ボード等が貼られている場合は、石膏ボード等の厚さを確認し、取付用ねじが確実に届くことを確認してください。また、レンジフード本体取付面には必ず不燃材を使用してください。

- 取付け面の強度確認**
……製品を支える強さが必要です。

600幅	製品質量	13.0kg
750幅	製品質量	14.0kg
900幅	製品質量	15.0kg
- 板厚の場合**
●板厚が20mm以下の場合には壁に補強板を埋め込み補強板にレンジフードを取り付けてください。
●板厚が20mm以上の場合には補強板の必要はありません。
- コンクリート、タイル壁の場合**
●あらかじめ補強板を壁に埋め込んでおくか、カールプラグ等を使用し固定してください。
- 土壁の場合**
●柱などに固定した補強板をあらかじめ壁に埋め込んでください。
- 2. 別売部品の準備**
排気工事に応じた別売部品の準備が事前必要です。
- 3. 標準取付寸法**
本製品の標準取付寸法は調理機器の上から製品下端まで80cm以上です。
※火災予防条例では、グリッドフィルターの下端が調理機器の上80cm以上必要となります。
- 4. 電源コンセント・ブレーカー**
電源コンセント・ブレーカーは専用のものを設置してください。(交流・単相 100V) コンセントは、JIS C8303 2極差込接続器(15A125V)をご使用ください。

各部のなまえ	製品寸法図	付属品																		
 <p>本体、前板、ベルマウス、ファン、スイッチ、ツマミ(ファン固定用)、取付ねじ(ベルマウス固定用)、ランプカバー、前板固定金具、グリッドフィルター</p>	 <p>電源コード(最大長さ1m)、アース端子、アース接続端子詳細図、ダクト径(φ4.5×45)、ダクト径(φ5.1×45)、ダクト径(φ4.9×4.9)、グリッドフィルター(2ヶ所)</p>	<table border="1"> <thead> <tr> <th>品名</th> <th>略図</th> <th>用途</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>木ねじ</td> <td>(φ4.5×45) 2本</td> <td>本体の取付けに使用します。</td> </tr> <tr> <td>座付ねじ</td> <td>(φ5.1×45) 4本</td> <td>本体の取付けに使用します。</td> </tr> <tr> <td>排気口</td> <td>1個</td> <td>本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。</td> </tr> <tr> <td>ソフトテープ</td> <td>1本</td> <td>排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使用します。</td> </tr> <tr> <td>幕板</td> <td>1個</td> <td>本体正面の目隠しに使用します。</td> </tr> </tbody> </table>	品名	略図	用途	木ねじ	(φ4.5×45) 2本	本体の取付けに使用します。	座付ねじ	(φ5.1×45) 4本	本体の取付けに使用します。	排気口	1個	本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。	ソフトテープ	1本	排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使用します。	幕板	1個	本体正面の目隠しに使用します。
品名	略図	用途																		
木ねじ	(φ4.5×45) 2本	本体の取付けに使用します。																		
座付ねじ	(φ5.1×45) 4本	本体の取付けに使用します。																		
排気口	1個	本体とダクトの接続に使用します。逆風防止シャッター付きです。																		
ソフトテープ	1本	排気口とダクトとの隙間をふさぐのに使用します。																		
幕板	1個	本体正面の目隠しに使用します。																		

取り付けかた

1. 付属品の確認

注意

- 取り扱いの際は、必ず厚手の手袋をすること
鋼板の切り口や角でけがをすることがあります

お願い

- 取付作業の際はキズ・破損のないよう十分に注意してください。
- 床で作業する場合、本体及び床に傷をつけないため、必ずシートを敷いた上で作業をしてください。

2. 排気方向の決定

警告

- メタルラス張り、ワイヤラス張り、または金属板張りの木造の造営物に金属製ダクトが貫通する場合、金属製ダクトとメタルラス、ワイヤラス、金属板とが電気的に接触しないよう取付けをすること
漏電した場合、発火したり感電することがあります
- 排気工事をされる場合は建築基準法(同施行令)および消防法などの関連法規に従って法的有資格者が工事を行うこと
火災などの原因となります
- レンジフードと排気ダクト等は、可燃物との間を10cm以上離すか、不燃材料を使用して可燃物を覆うこと
火災などの原因となります
詳しくは、所轄の消防署にお問い合わせください

注意

- 浴室など湿気の多い場所では絶対に使わないこと
(浴室用換気扇をお使いください)
感電および故障の原因となります
- 周囲温度が40℃以上になるところには取付けられないこと
火災・故障の原因となります

3. 本体の準備

(1) コネクターをはずします。
①のツマミ部を押しながら、②の方向に引き抜きます。

(2) 幕板を取り付ける場合
幕板取付金具のねじ(左右各1ヶ所)をゆるめ、幕板を前から差し込みます。

(3) 幕板の取付位置を決め、幕板取付金具のねじを締め付けて固定します。

4. 排気用部品の準備

(1) 付属品の確認の項で取り出した排気口を準備します。

(2) 前板をはずします。
前板固定金具を下図①のように回転させ、ロックを解除し、前板ツマミを本体ツマミ部からはずし前板を両手で持ち、手前に向けてはずします。

(3) グリッドフィルターをはずします。
グリッドフィルターの下端を持って上にあげ、手前に引きます。

お願い グリッドフィルターをはずす際は、必ず手を添えてください。添えないと落下するおそれがあります。

5. 本体の取付け

注意

- レンジフードの取付けは十分強度のあるところを選んで確実にすること
落下によりけがをすることがあります

(1) だるま穴用木ねじをねじ込みます。
だるま穴位置(左右各1ヶ所)に木ねじ(φ4.5×45)を壁面との隙間5mmまで締め付けます。

(2) だるま穴用木ねじに本体を引っ掛けた後、取付ねじ(φ5.1×45)で本体取付位置4ヶ所をしっかりと締め付けます。

お願い 上方排気の場合は、ダクトに排気口を差し込みながら本体を取付けてください。

6. ダクトと排気用部品の接続

お願い

ドリリングタッピンねじなどで排気口を固定する場合は、シャッターにねじが当たらないよう、図のドリリングタッピンねじ使用範囲内に固定してください。

■上方排気の場合
排気口の向きは、排気口の向きに注意して排気口を取り付けてください。下図の「誤った接続例」の場合、排気不良や異音の原因となります。

■側方および後方排気の場合(別売品のL形ダクトを使用する場合)

- L形ダクトを本体上部の差込口に差し込みながら、排気口をダクトに挿入し、取付ねじ(M4×8)2本で取り付けます。(取付ねじは、あらかじめ本体のL形ダクト取付部に取り付けておきます)
- 風漏れ防止のテーピング(アルミテープ)を行います。

排気口設置面の漏風確認のお願い

排気口とダクトを接続する際に、無理にダクトにレンジフードの排気口を接続しようとすると、排気口と排気口の設置面(フード天面等)が変形し、排気漏れが発生してしまう場合があります。排気漏れ確認のために、ダクトと接続後の排気口と設置面の周囲をアルミテープ等(現地手配)で漏風防止処置を行ってください。
※L形ダクト使用時も同様に行ってください。

7. 電気配線

警告

- 修理技術者以外の人は、絶対に分解したり修理・改造をしないこと
発火・感電したり、異常動作してけがをすることがあります
- アースを確実に取り付けること
故障や漏電のときに感電することがあります
アースの取付けは販売店にご相談ください
- 交流100V以外では使用しないこと
火災・感電の原因となります
- 配線工事は電気設備技術基準や内線規程に従って法的有資格者が工事を行うこと
誤った配線工事は感電や火災の原因となります

お願い

- コンセントはJIS C8303 2極差込接続器 15A 125Vをご使用ください。
- コンセントの電源コードの長さ(最大長さ約1m)を考慮し、設置してください。
- 必ずアース(D種接地工事)をしてください。
アース接地位置は「製品寸法図」を参照してください。
※アース線は取付作業員の手配してください。
- 電源プラグをコンセントに差し込み、ブレーカーを「入」にします。

お願い 電源は専用のコンセントおよびブレーカーを設けてください。

8. 幕板の取付け

幕板を取り付ける場合

- 幕板取付金具のねじ(左右各1ヶ所)をゆるめ、幕板を前から差し込みます。
- 幕板の取付位置を決め、幕板取付金具のねじを締め付けて固定します。

9. 組み立て

注意

- 部品の取付けは確実にすること
落下によりけがをすることがあります

取付注意

- グリッドフィルターを取り付けます。
- 前板を両手で持ち、本体のフック(左右2ヶ所)に引っ掛けます。
- 前板ツマミを本体ツマミ部にはめこみ、つまみが正しくはまらなくなるまで押し上げます。
- 前板固定金具を回転させた状態で、前板の下の前板固定部を本体固定部にはめこみます。(図①)
- 前板固定金具(左右2ヶ所)を下図②のように回転させてロックを確認し前板を確実に固定します。

お願い

- コネクターを差し込む際は必ず電源プラグを抜いた状態で行なってください。
- 前板の取付けは、確実に行ってください。確実に取付けが行われないと、ご使用の際に前板が落下しけがのおそれがあります。
- コネクターを取り付ける場合は、コネクターの向きを確認して確実に元で差し込んでください。運転できないおそれがあります。

10. 試運転

注意

- 運転中は指や物を絶対にいれないこと
けがをすることがあります

取付注意

- スイッチを操作して運転状態を確認してください。
スイッチの操作と運転状態については取扱説明書をご覧ください。
- 運転時、各速調の排気が正しく行われていることを確認してください。
- 異常な騒音、振動がないことを確認してください。
- 屋外の排気出口から排気されていることを確認してください。
- 取付けまたは施工上発生した不具合を修理を依頼されますと全て有料となりますのでご注意ください。

11. お客様への説明

取扱説明書によって機器の取り扱いを説明してください。
取扱説明書と共に、この取付・設置説明書を必ずお客様にお渡してください。

クリナップ株式会社
〒116-8587 東京都荒川区西日暮里 6-22-22

KIKI-0215
2102A-2-47

原寸大型紙 (寸法単位はmm)

付属品

品名	略図	用途	品名	略図	用途
木ねじ	 (φ4.5×45) 2本	本体の取り付けに 使います。	ソフトテープ	 1本	排気口とダクト との隙間をふさぐ のに使います。
座付ねじ	 (φ5.1×45) 4本	本体の取り付け に使います。	幕板	 1個	本体に取り付け ます。
排気口	 1個	本体とダクトの 接続に使います。 逆風防止シャッ ター付きです。			

お願い

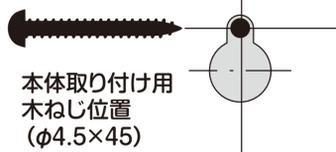
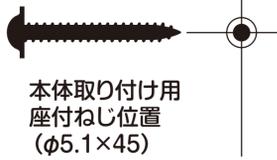
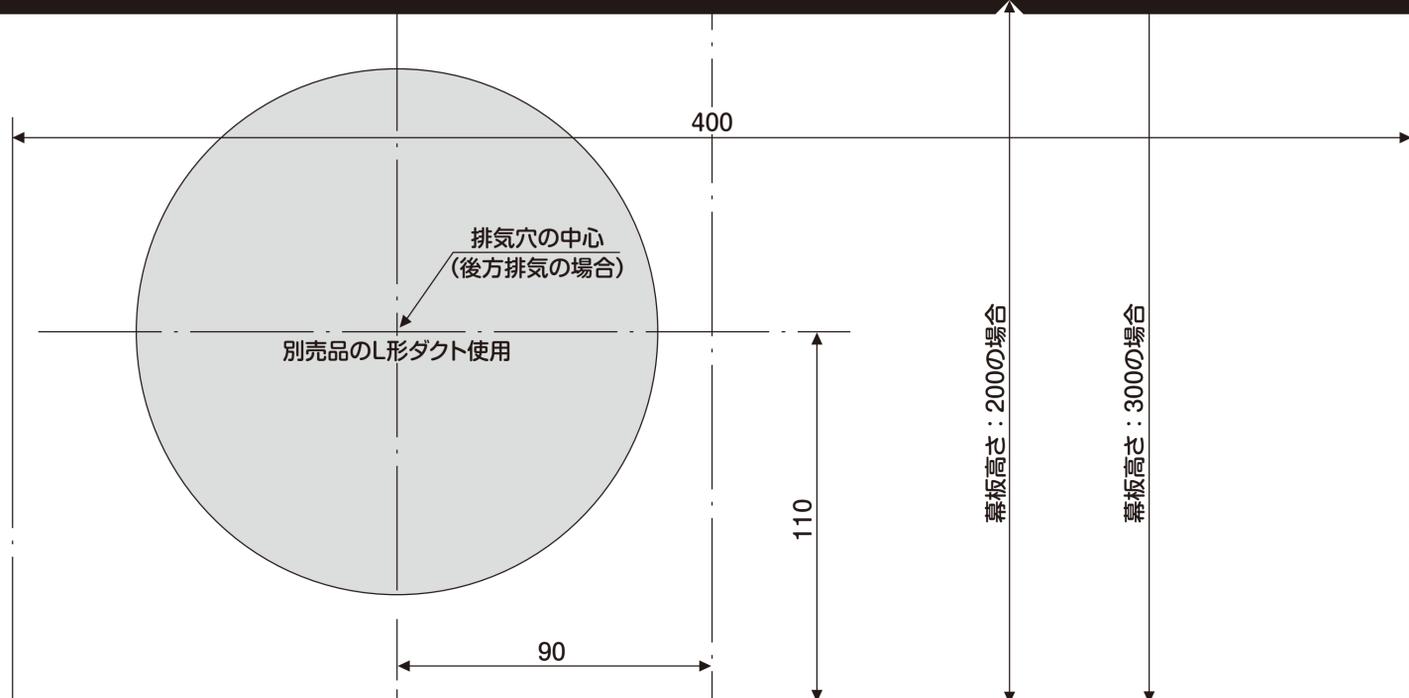
この型紙は W600、W750、W900 各製品共通で使用しますので、本製品を取り付けの際は、製品の中心を型紙の中心線に合わせて採寸願います。

ご注意

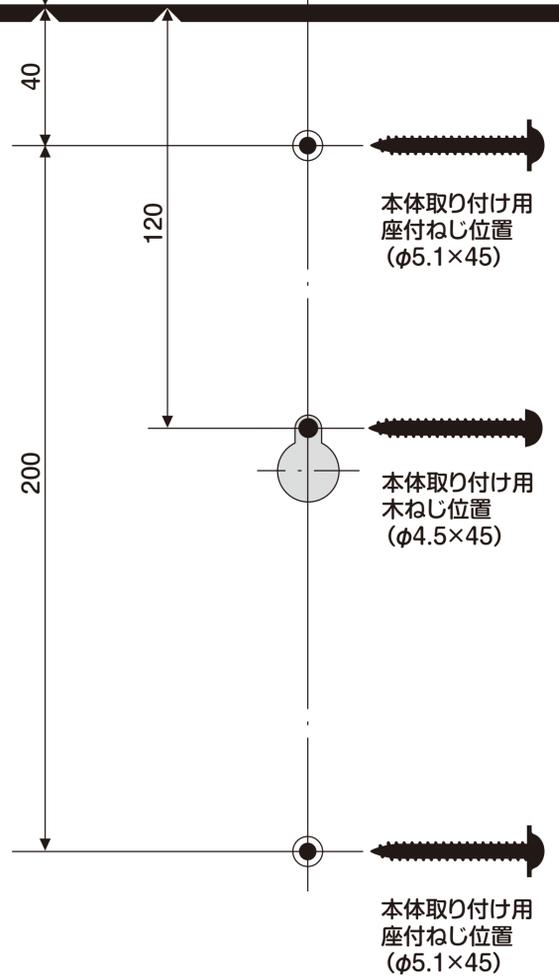
この型紙は湿気の影響で2~3mm誤差が生ずることがあります。寸法をお確かめの上ご使用ください。

取扱説明書、取付・設置説明書は必ず使用されるお客様にお渡しください。

※裏面は取付・設置説明書になっています。よくお読みになり正しく取り付けを行ってください。



製品の中心



600・750・900